

NXPowerLite™
DESKTOP EDITION 7

デスクトップエディション

NXPowerLite 7 デスクトップエディション



NXPowerLite™

デスクトップエディション

ユーザーマニュアル

目次

使用方法	3
デスクトップアプリケーション	3
メール連携機能	5
Windows エクスプローラー連携.....	7
設定	8
保存先.....	8
ファイル名	9
軽量化レベル	10
メール連携機能 (Outlook)	13
サポート	15
動作環境およびサポートしているファイル形式.....	15
ファイルが軽量化されない理由.....	17
著作権について	21

使用方法

デスクトップアプリケーション

メイン画面

以下の手順でファイルの軽量化を行います。

- フォルダまたはファイルを追加する
- 必要に応じて、**保存先**を選択または編集する
- 必要に応じて、**軽量化レベル**を選択または編集する
- [軽量化]ボタンをクリックする

フォルダまたはファイルの追加

軽量化するファイルを追加する 3 つの方法

1. ドラッグアンドドロップする
2. [ファイルの追加]または[フォルダの追加]メニューをクリックする
3. ファイルまたはフォルダを右クリックし、表示されたメニューから「NXPowerLite を起動して軽量化」をクリックする

フォルダの軽量化

フォルダを NXPowerLite に追加すると、フォルダ内のファイルがメイン画面に表示されます。このとき、サブフォルダの中にあるファイルは追加されないので、注意してください。

大量のファイルの軽量化

NXPowerLite はバッチ処理を行うことで最大 10000 ファイルの軽量化を行うことができますが、その軽量化処理の速度や信頼性は使用しているハードウェアやネットワークに依存してしまいます。大量のファイルを軽量化する際は大量のデータの軽量化に特化した NXPowerLite ファイルサーバーエディションをご利用ください。



体験版の NXPowerLite デスクトップエディションの場合、一度に軽量化できるファイル数は最大 20 に制限されています。

結果画面

軽量化結果

正しく軽量化が終了すると、ファイル名の下に「成功」と表示されます。また、ファイル名の右側には軽量化前のサイズと、どれだけファイルサイズを小さくできたかの軽量化率が表示されます。ファイルが軽量化できなかった場合や、埋め込まれた文書が、図形化された場合にもファイル名の下に理由が表示されます。詳細については、[軽量化できなかった理由](#)を参照してください。

オプション機能

軽量化後のファイルに対して様々な操作を行うことが可能です。ファイル形式や軽量化したファイル数により、実行できる機能が異なります。

- 「Eメールで送信」メニュー

- 「Eメールで送信」

既定のメールプログラムから、軽量化済みのファイルが添付されたメールを作成することができます。

- 「Zip 圧縮後に Eメールで送信」

既定のメールプログラムから、軽量化済みのファイルが Zip 圧縮されて、添付されたメールを作成することができます。

- 「開く」メニュー

- 「開く」

選択した軽量化済みファイルを対応するアプリケーションで開きます。

- ・「元ファイルを開く」

元ファイルに対応するアプリケーションで開きます。

- ・「元ファイルの保存先フォルダを開く」

元ファイルの保存先フォルダを開きます。

- ・「軽量化済みファイルの保存先フォルダを開く」

軽量化済みファイルの保存先フォルダを開きます。

メール連携機能

軽量化の自動実行と Zip 圧縮 (Outlook のみ)

Outlook 連携機能をインストールした場合、Outlook の E メールに Office ファイル、PDF ファイル、JPEG ファイルが添付されている場合、送信前に軽量化します。また、軽量化後に Zip 圧縮を実行し、ファイルサイズをさらに小さくして E メールを送信することも可能です。

E メール連携機能の有効/無効化 (Outlook のみ)

初期設定では、既定のメールプログラムで新規作成画面を開くと、NXPowerLite の E メール連携機能は有効となっています。

E メール連携機能の無効化

E メール連携機能を無効にすることも可能です。無効にするには、新規作成画面のリボンに表示される [NXPowerLite 有効] ボタンをクリックしてください。ボタンが [NXPowerLite 無効] に変更されると、送信時に添付ファイルの軽量化や Zip 圧縮を行いません。再度有効化されるまで、NXPowerLite の機能は無効のままとなります。

無効化するのを忘れて送信ボタンをクリックした場合

Eメールの送信ボタンをクリック後、NXPowerLite は軽量化処理実行中に進捗を表示するダイアログが表示されます。ダイアログ上には以下の2つのオプションが表示されます。

- [キャンセル]ボタン：軽量化処理を中止し、Eメールの作成画面に戻ります。
 - [元ファイルを送信]ボタン：軽量化処理を中止し、添付された元ファイルを送信します。
- 添付ファイルの軽量化や Zip 圧縮の実行機能を設定するには、[Eメール連携設定](#)を参照してください。

受信した Eメールの軽量化 (Outlook のみ)

NXPowerLite は軽量化対象ファイルが添付された受信済み Eメールを軽量化することができます。軽量化したい受信メールを右クリックし、「軽量化の実行(NXPowerLite)」をクリックして実行します。

軽量化の実行中はプログレスバーが表示され、Outlook の操作は行えません。軽量化結果を表示する[結果画面](#)が表示されれば完了となります。

一度軽量化された Eメール(送信元で送信される際に軽量化された Eメールも含む)は再度軽量化することはできません。軽量化された Eメールを右クリックし、「詳細の確認(NXPowerLite)」をクリックすることでどのように軽量化されたのかを確認できます。



現在、受信した Eメール一つずつ軽量化することはできますが、複数の受信メールを一度に軽量化することはできません。

Lotus Notes / Outlook Express / Windows メール連携

Lotus Notes、Outlook Express、Windows メール連携に関しては、バージョン 5 と同じ機能となります。詳細は[バージョン 5 マニュアル](#)を参照してください。

Windows エクスプローラー連携

エクスプローラー連携で行えること

Windows エクスプローラー上で PDF、PowerPoint、Word、Excel、JPEG、Zip ファイルを右クリックした際に表示されるメニュー内のオプションは以下の通りです。

- ・ 「NXPowerLite を起動して軽量化」

NXPowerLite を起動し、軽量化対象リストとしてメイン画面にファイルを追加します。

- ・ 軽量化済みファイルの作成(同じフォルダ)

原本ファイルに対して処理は行わず、原本ファイルと同じフォルダに軽量化済みのファイルが新規に作成されます。

- ・ 原本ファイルのコピーの作成(同じフォルダ)

原本ファイルを軽量化済みのファイルで上書きします。また、原本ファイルのコピーが同じフォルダ内に作成されます。

- ・ 「軽量化後に Zip 圧縮」

軽量化を実行後に軽量化済みファイルを Zip 圧縮します。

- ・ 「軽量化後に E メールへ添付」

軽量化を実行後に、Eメールの新規作成画面に軽量化済みファイルを添付します。

- ・ 「軽量化後に Zip 圧縮して E メールへ添付」

軽量化を実行後に Zip 圧縮して、Eメールの新規作成画面に添付します。

すべてのファイル形式で実行できるオプション

以下のオプションは、Windows エクスプローラー連携時すべてのファイル形式に対して実行可能です。

- ・「Zip 圧縮」

ファイルを Zip 圧縮します。

- ・「Zip 圧縮して E メールに添付」

Zip 圧縮して、Eメールの新規作成画面にファイルを添付します。

フォルダで実行できるオプション

フォルダの追加

フォルダ内の全てのファイルを追加できます。その際にそのフォルダのサブフォルダ内にあるファイルは追加されない点にご注意ください。

設定

保存先

保存先の設定

- ・元ファイルのコピーの作成 (同じフォルダ) [初期値]

このオプションを選択した場合、元ファイルを軽量化済みのファイルで上書きします。また、元ファイルのコピーが同じフォルダ内に作成されます。

- ・元ファイルのコピーの作成 (任意のフォルダ)

このオプションを選択した場合、元ファイルを軽量化済みのファイルで上書きします。また、元ファイルのコピーは指定した別フォルダ内に作成されます。

- ・軽量化済みファイルの作成 (同じフォルダ)[初期値]

以前のバージョンと同様、元ファイルに対して処理は行わず、元ファイルと同じフォルダに軽量化済みのファイルが新規に作成されます。

- ・軽量化済みファイルの作成 (任意のフォルダ)

以前のバージョンと同様、元ファイルに対して処理は行わず、元ファイルとは別の任意のフォルダに軽量化済みのファイルが新規に作成されます。

現在日時でファイルを上書きする

NXPowerLite は原本ファイルと同じ日時を軽量化済みファイルに適用するように初期設定されていますが、設定を変更することで現在日時を上書きできるようにします。

ファイル名

ファイル名の設定

ファイルの軽量化実行後に作成されるコピーファイルまたは新規の軽量化済みファイル名の前か後に、テキストを追加します。初期値は、元ファイルのコピーに対しては「(NXPowerLite Backup)」、新規に作成された軽量化済みファイルには「(NXPowerLite Copy)」が追加されます。また、任意のテキストに変更することも可能です。テキストが追加される位置については、ドロップダウンリストでファイル名の「前」か「後」を選択することが可能です。

- ・元ファイルのコピーファイル(初期値)

元ファイル名 = Document.pdf

コピーしたファイル名 = Document (NXPowerLite Backup).pdf

- ・新規の軽量化済みファイル(初期値)

元ファイル名 = Image.jpeg

新規の軽量化済みファイル = Image (NXPowerLite Copy).jpeg

同じファイル名がすでに存在していた場合

軽量化処理後、フォルダ内に同じファイル名がすでに存在していた場合には、ファイル名の後ろに「(1)」と数字が加算されてファイル名に追加されます。

例:

元ファイル名 = Presentation.ppt

フォルダ内にすでに存在しているファイル名 = Presentation (NXPowerLite Copy).ppt

軽量化済みファイル名 = Presentation (NXPowerLite Copy) (1).ppt

軽量化レベル

初期設定の軽量化レベルは「**標準(画面表示用)**」となります。モニタやプロジェクタでファイルを開覧する場合にお勧めです。その他のディスプレイでも、高品質にファイルを開覧できますが、高解像度のモニタで閲覧する場合や高画質印刷を行う場合には適しない場合もあります。

- ・「**高画質(印刷用)**」は、ファイルをフルカラー印刷したい場合や画像の品質を維持したい場合に選択します。この方式では、ファイル中の画像はリサイズされませんので、高画質を維持できます。ただし、他の軽量化レベルに比べて、ファイル容量は大きくなります。

- ・「**モバイル機器用**」は、タブレット端末や、Office ファイルおよび PDF ファイルに対応したビューワ機能を実装したスマートフォンなどでファイルを開覧したい場合に選択します。小さいディスプレイでの閲覧や回線速度が遅い携帯端末へファイルを送る場合にお勧めです。低い解像度に変更されるため、大きなディスプレイで表示すると、画像が粗く見える場合があります。

- ・「**標準 (画面表示用 図形化なし)**」は、「標準 (画面表示用)」と同じ設定ですが、Office 文書内にある埋め込まれた文書を図形化して画像に変換しないため、軽量化後も作成元のアプリケーションで編集可能です。

・「高画質 (印刷用 図形化なし)」は、「高画質 (印刷用)」と同じ設定ですが、Office 文書内にある埋め込まれた文書を図形化して画像に変換しないため、軽量化後も作成元のアプリケーションで編集可能です。

軽量化に関わる様々な項目を任意に設定したい場合には「カスタム」を選択します。「カスタム」を選択すると、軽量化レベルのドロップダウンリスト右側に配置されている[設定]ボタンが選択可能な状態になります。[設定]ボタンをクリックすると、設定ダイアログが表示され、様々な軽量化設定が行えます。

軽量化レベルの設定

・ JPEG 画質

このオプションでは、ファイル内の画像を JPEG 圧縮する際の画質を設定します。設定値は「1」から「9」まであり、値が大きいほど画質は高くなりますが、あわせてファイル容量も大きくなります。初期値は「7」に設定されています。

- JPEG 画質の設定値が「1」に設定されている場合、ファイルサイズはかなり小さくなりますが、見た目の画質は粗くなる可能性があります。
- JPEG 画質の設定値が「9」に設定されている場合、見た目の画質は維持できますが、ファイルサイズはあまり小さくなりません。

見た目の画質維持と、効果的と感じられるファイルサイズの軽量化率を得るには、初期値を適用して軽量化することをお勧めします。



[軽量化レベル]設定画面内にある[PDF] および [Microsoft Office] オプションの[JPEG 画質]設定は、それぞれ Microsoft Office 文書と PDF ファイル内に含まれる JPEG 画像に対して適用されます。[標準]/[高画質]/[モバイル機器]設定時、JPEG ファイルに対して解像度の変更は適用されません。解像度を変更したい場合には、[カスタム]設定を選択し、任意の解像度を設定してください。

・ 「次の解像度で軽量化 :」

Office ファイルには、デジタルカメラで撮られた高解像度でサイズの大きな画像が貼り付けられていることが多々あります。NXPowerLite は解像度を指定した軽量化が可能で、初期値は、1024 x 768 ピクセルに設定されています。ある解像度を選択して軽量化したファイルを、より高い解像度で表示すると、ファイル中の画像が少しぼやける場合があります。

PDF

- ・「プライベートデータの削除」(PDF)

PDF ファイルの作成や編集が可能な Adobe Acrobat、InDesign、Illustrator、Photoshop などのアプリケーションではファイル内にそれぞれのアプリケーション固有の編集データを保持することができます。

一例として、Adobe Illustrator の場合、PDF 保存時のオプションにある「Illustrator の編集機能を保持する」をチェックした上で保存を行ったファイルには、保存された PDF には「PDF に関するデータ」と「Illustrator のアプリケーション固有の編集データ」という 2 つのデータが含まれます。（このアプリケーション固有の編集データを保持した場合、当該 PDF を再度、Illustrator で開く際、Illustrator のファイルとして開くことができます）

NXPowerLite の[プライベートデータの削除]機能を使用すると、上記のうちアプリケーション固有の編集データを削除することができます。なお、編集データを削除した場合、Adobe 製品のアプリケーション固有の編集データを使用する機能は無効になりますが、PDF ファイル自体の基本的な編集は可能です。



編集者や更新日時といったメタ情報は削除されません。

- ・サブセット埋め込みのフォント

このオプションをチェックするとレイアウト内で使用されている文字だけを PDF に保存します。

Microsoft Office

- ・「画像のトリミングを許可」(Microsoft Office)

このオプションをチェックすると、トリミングツールで調整された画像を検出し、トリミングされた部分のデータを削除します。これによりファイル容量は削減されますが、削除された画像データを復帰させることはできません。

※Office Open XML 形式のファイル内にあるトリミングされた画像は、「画像のトリミングを許可」が有効な状態でもトリミング箇所は削除されません。

- ・「埋め込まれた文書の図形化」 (Microsoft Office)

このオプションをチェックすると、以下のファイル： Office ファイルに含まれるオブジェクト(Excel で作成されたグラフなど)は、すべて画像として処理されます。図形変換を行うと、ファイル容量は大幅に減りますが、図形変換した埋め込み文書は再編集できなくなります。

例えば、図表を含む Excel シートが埋め込まれた PowerPoint 文書は、その図表をダブルクリックすることにより、Excel 上で編集することができます。しかし、軽量化によりファイル内の埋め込まれた文書は画像に変換されるので、再度図表をダブルクリックしても、Excel で編集することはできません。

埋め込まれた文書の図形化を実行した場合、軽量化後の結果画面に、ファイル名とともにメッセージが表示されます。埋め込まれた文書の図形化を実行したくない場合は、**軽量化レベル**で「標準 (画面表示用 図形化なし)」または「高画質 (印刷用 図形化なし)」を選択するか、[カスタム]設定で[埋め込まれた文書の図形化]のチェックを外してください。

※Office Open XML 形式のファイル内に埋め込まれたオブジェクトは、「埋め込まれた文書の図形化」の対象外です。

- ・「EXIF 情報の削除」 (JPEG)

JPEG 画像は通常、Exif 情報(カメラのモデルや設定情報など)を保持しています。初期設定では、Exif 情報は削除されず維持されたままになります。このオプションを有効にした場合、軽量化実行時に JPEG 画像から Exif 情報を削除します。

メール連携機能 (Outlook)

※Outlook 上にある NXPowerLite のアドインから設定を行ってください。

軽量化設定

- ・「最小サイズ」

NXPowerLite は、添付されたファイルの合計サイズが「最小サイズ」で指定したサイズ以下のファイルは軽量化しません。

・「ファイル形式」

軽量化対象のファイル形式を選択します。例として、Eメールに Excel ファイルが添付されていても軽量化したくない場合には「Excel」のチェックを外します。

・「埋め込まれた文書の図形化実行をそのつど確認する」

このオプションにチェックを付けた場合には、添付されたファイル内の「埋め込まれた文書の図形化」を実行するかどうかの確認を送信前に行います。確認画面では以下のオプションが選択可能です。

- 埋め込まれた文書の図形化を実行後に送信する
- 埋め込まれた文書の図形化を実行せずに元ファイルを送信する
- 設定を変更するためキャンセルして新規作成画面に戻る

「埋め込まれた文書の図形化」を実行しないようにするには、**軽量化レベル**の設定で、「標準 (画面表示用 図形化なし)」または「高画質 (印刷用 図形化なし)」を選択するか、「カスタム」設定で[埋め込まれた文書の図形化]のチェックを外してください。

Zip 圧縮設定

・「Zip 圧縮して送信」

Zip 圧縮は初期設定で有効になっており、以下の各オプションで設定された値で Zip 圧縮後に送信されます。

・「最小サイズ」

NXPowerLite は、添付されたファイルの合計サイズが[最小サイズ]で指定したサイズ以下のファイルは軽量化しません。[最小サイズ]で「0」を指定した場合は、すべての添付ファイルが Zip 圧縮されます。

・「最小 Zip 圧縮率」

このオプションで設定した圧縮率よりも低かった場合には、Zip 圧縮を行わずに Eメールを送信します。例えば、実際に Zip 圧縮した場合に 5% の圧縮率でも、[最小 Zip 圧縮率]が 10%に設定されていた場合には、Zip 圧縮は実行せずに Eメールを送信します。

・「Zip 圧縮の実行をそのつど確認する」

このオプションにチェックを付けた場合には、添付ファイルの Zip 圧縮を実行するかどうかの確認を送信前に行います。確認画面では以下のオプションが選択可能です。

- 添付ファイルの Zip 圧縮を実行後に送信する
- 添付ファイルの Zip 圧縮を実行せずに送信する
- 設定を変更するためキャンセルして新規作成画面に戻る

添付ファイルの Zip 圧縮を実行しないようにするには、[Zip 圧縮して送信]のチェックを外してください。

・「拡張子の変更」

このオプションにチェックを付けた場合には、Zip 圧縮後に作成された Zip ファイルの拡張子を、指定した拡張子に変更することができます。例えば、[拡張子の変更]を「.piz」と指定した場合には、NXPowerLite で Zip 圧縮後「ファイル名.piz」という名前の Zip ファイルが E メールに添付されて送信されます。

サポート

動作環境およびサポートしているファイル形式

システム要件

- Windows Vista SP2 (32bit)、7 SP1 (32bit および 64bit)、8 (32bit および 64bit) 、8.1 (32bit および 64bit)、10 (32bit および 64bit)
- NXPowerLite デスクトップエディションは、ローカルの端末上に保存されたファイルの軽量化を行うことを前提に作られています。その為、ネットワーク上のファイルサーバーに保存されたファイルの軽量化を行う場合は、NXPowerLite ファイルサーバーエディションのご利用をご検討ください。

サポートしているファイルの種類

NXPowerLite がサポートしているファイルの種類は以下のとおりです:

PDF

バージョン XI(11)以前の Adobe Acrobat を使用して作成された PDF のバージョンが 1.4 から 1.7 Extension Level 8 の PDF ファイル。また、以下の規格に準拠した PDF ファイル:

- PDF/A
- PDF/X
- PDF/E
- PDF/UA
- PDF/VT



NXPowerLite は PDF ポートフォリオを軽量化しません

Microsoft Office

Microsoft Office 97-2016 で作成したファイル。以下の拡張子を持つファイルに対応しています:

- PowerPoint: pptx, pptm, ppt, ppsx, ppsm, pps, potx, potm, pot
- Word: docx, docm, doc, dotx, dotm, dot
- Excel:xlsx, xslm, xls, xltx, xltm, xlt

JPEG

以下の拡張子を持つ JPEG ファイルに対応しています:

- JPEG
- JPG
- JPE
- JFIF
- JIF
- JFI

Zip ファイル

上記の拡張子を持つファイルを含む Zip ファイルに対応しています:

NXPowerLite 連携機能

E メール連携

NXPowerLite は以下のメールクライアントを使用して作成された電子メールに添付されたファイルの軽量化を行うことができます:

- Microsoft Outlook (2000-2016) ¹
- Lotus Notes (6.0-9.0)
- Outlook Express (6.0+)²
- Windows Mail (6.0+)²

アプリケーション連携

NXPowerLite は以下のアプリケーションと連携します (バージョン 2003 - 2016)¹:

- Microsoft PowerPoint
- Microsoft Word
- Microsoft Excel



¹ Office 2000 および Office XP(2002) はサポート対象外となります。

² 64bit 版の Microsoft Office やメールアプリケーションとの連携は未対応です。

ファイルが軽量化されない理由

ファイルが軽量化されない理由

ファイルの軽量化ができない理由についての詳細は、以下をご参考ください。

- ファイルに関する問題

軽量化実行後の結果画面には、ファイル名の下に軽量化できなかった理由の一覧が表示されます。以下の表は、各理由の詳細になります。

理由	詳細
すでに軽量化済みのファイル	NXPowerLite ですでに軽量化されたファイル。軽量化の設定を変更することにより再度軽量化することが可能です。詳細は、 軽量化レベル を参照してください。
暗号化またはパスワード保護されたファイル	暗号化もしくはパスワードで保護されたファイルに対して軽量化を行うことはできません。暗号化もしくはパスワードを解除してから、軽量化を行ってください。
デジタル署名されたファイル	デジタル署名されたファイルに対して軽量化を行うことはできません。デジタル署名を削除してから軽量化を行い、軽量化処理完了後に再度デジタル署名を追加してください。
現在の設定では軽量化できないファイル	設定した軽量化レベルでは軽量化できないファイル。(解析不能、破損している場合も本メッセージが表示されます。)ファイル内に多数の画像が貼り付けられているにも関わらず、軽量化できない場合は調査いたしますので、ご提供可能な場合には 弊社サポート までファイルを送付してください。
予期せぬエラー	軽量化中にエラーが発生したファイル。 詳細は、 トラブルシューティング を参照してください。
軽量化処理をキャンセルされたファイル	ファイルの軽量化処理前または処理中にキャンセルされました。
高速保存された Word 文書	[高速保存を許可する]オプションが有効になっている Word 文書。古いバージョンの Microsoft Office で作成されたファイルであるため、Office 2003 以降の Office のバージョンで開き、再保存してから軽量化を行ってください。
サポートしていないファイル形式	軽量化対象の対応ファイル形式に関する最新情報は動作環境を参照してください。例として拡張子が.doc であるファイルでも、中身が.rtf 形式のファイルは軽量化できません。
Office 2016 より後の Office で作成されたファイル	Office 2016 (バージョン 16) または PDF バージョン 1.7 Extension Level 8 より後のバージョンで作成されたファイルは軽量化されません。最新アップデートのサポート状況については 弊社サポート までお問い合わせください。
Office 97 より前の Office で作成されたファイル	Office 97 または PDF バージョン 1.4 より前のバージョンで作成されたファイルは軽量化されません。

ファイルが開けないまたは保存できないため生成できなかった PDF ファイル	ファイルの軽量化処理後に破損または問題が発生した可能性があります。詳細は、 トラブルシューティング を参照してください。
サポートしていない PDF ファイル形式 (PDF ポートフォリオ)	NXPowerLite は PDF ポートフォリオファイル を軽量化できません。

・システムエラー

NXPowerLite を使用中にエラーが発生した場合の原因については、以下の表を参照してください。いずれにも当てはまらない場合にはシステム管理者または弊社サポートまでお問い合わせください。

理由	詳細
アクセスが拒否されました	ファイルへのアクセスに必要な権限がないユーザーで NXPowerLite を実行しています。軽量化処理に必要な権限へ変更してください。
元ファイルを読み込めません(ファイルは存在しません)	軽量化対象ファイルとして NXPowerLite で指定した後、ファイルの削除/移動/ファイル名の変更などにより、ファイルパスが変更されました。
フォルダが存在しません	軽量化対象ファイルとして NXPowerLite で指定した後、フォルダの削除/移動/フォルダ名の変更などにより、ファイルパスが変更されました。
元のファイルを上書きできません(共有違反)	他のアプリケーションまたはシステム処理によりファイルが開いた状態であるため、NXPowerLite がファイルにアクセスできません。

トラブルシューティング

ファイルの軽量化ができない理由として、以下の理由があげられます:

- ファイルが破損している
- アクセス権限のないネットワーク上のドライブまたは外付けデバイスにファイルが保存されている
- Microsoft Office ファイル内にある画像がグループ化されている

・修正方法

ファイルの再保存

ファイル編集が可能なアプリケーションでファイルを開き、別名で保存します。

元のファイル/軽量化済みファイルが保存されているフォルダがローカルマシンのハードディスク上に保存されていることを確認

ローカルマシンのハードディスク上(デスクトップなど)に軽量化対象の元ファイルをコピーして保存しておきます。

グループ化の解除

1. グループ化の解除を行う画像上で右クリックします。
2. グループ化から「グループの解除」を選択します。
3. 上書き保存をします。

・解決しない場合

上記の手順でも解決しない場合には、[弊社](#)までお問い合わせください。

著作権について

著作権表示

Copyright c 2001--2017 Neuxpower Solutions Ltd

NXPowerLite は Neuxpower Solutions Ltd. の商標です

Independent JPEG Group の成果を一部利用しています

Portions copyright 1984-2008 Adobe Systems, Inc. All rights reserved.

Portions copyright 1998-2010 Datalogics, Inc. All rights reserved.

NXPowerLite 開発元

Neuxpower Solutions Ltd.



URL: <http://www.neuxpower.com/>

NXPowerLite 国内総販売代理店

株式会社オーシャンブリッジ

URL: <http://www.oceanbridge.jp/>



つかえるITを、**世界から。**